



外国語教育メディア学会 (LET) 第 100 回 (2023 年度春季) 中部支部研究大会 プログラム



★第 100 回記念大会★

大会テーマ：「デジタル・シティズンシップと言語教育」

日時 2023 年 5 月 27 日 (土) 10:00-17:00

会場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

〒461-8534 名古屋市東区矢田南 4-102-9

研究大会実行委員長 西尾 由里 (名城大学)

主催 外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部

後援 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

問い合わせ先：外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部事務局

事務局長 工藤 泰三 (名古屋学院大学) taizo@ngu.ac.jp

参加申込締切は 5 月 24 日 (水) です

大会詳細はこちらから (<https://www.letchubu.org/>) →



時 程

9:30 受付開始

10:00 - 10:05 開会式 【第1室 (DS304)】

司会：天野 修一（広島大学）

主催者挨拶：西尾 由里

（中部支部支部長・名城大学）

開催校挨拶：岩井 眞實（名城大学外国語学部長）

事務連絡：工藤 泰三

（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

10:05 - 11:45 講演 【第1室 (DS304)】

司会・講師紹介：工藤 泰三（名古屋学院大学）

講師：坂本 旬 氏（法政大学）

「異文化交流とデジタル・シティズンシップ教育」

近年、デジタル・シティズンシップという言葉が急速に社会に広がりつつある。「情報モラル」の代わりの言葉としてみなされることが多いが、実際は「情報モラル」よりもはるかに広い概念である。そして、デジタル・シティズンシップはESDや外国語教育、異文化交流とも関連する。本報告はとりわけ異文化交流とデジタル・シティズンシップの関係と今後の課題に焦点を当て、最新のユネスコの理論や実践とともに解説する。



【坂本旬氏プロフィール】1959年生まれ。東京都立大学大学院教育学専攻博士課程単位取得満期退学。教育系出版社や週刊誌などの編集者を経験したのち、朝日新聞社、毎日新聞社を中心に雑誌執筆者として活躍。1996年より法政大学教員。現在はキャリアデザイン学部教授として図書館司書課程を担当。法政大学図書館司書課程はユネスコ・メディア情報リテラシーと異文化対話大学ネットワーク (UNITWIN MILID) および国際メディア情報リテラシー研究所の担当機関として『メディア情報リテラシー研究』の発行、世界報道の自由デーティーチン及び日韓メディア情報リテラシーフォーラム等を主催する。アジア太平洋メディア情報リテラシー教育センターおよび福島ESDコンソーシアム代表。基礎教育保障学会、JEARN理事。

11:45 – 12:30 昼食（各自でお済ませください）

.....

11:50 – 12:25 中部支部評議員会【控室・評議員会室（DS302）】

★評議員の皆様はご出席ください

12:30 – 12:55 中部支部総会【第1室（DS304）】

★中部支部会員の皆様はご参加ください

.....

13:00 – 13:40 賛助会員プレゼンテーション（ランチョンセミナー）【第1室（DS304）】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

13:00-13:10 株式会社エル・インターフェース (<https://www.supereigo.com>)

13:10-13:20 ETS Japan 合同会社 (<https://www.etsjapan.jp/>)

13:20-13:30 株式会社教育測定研究所 (<https://www.jiem.co.jp/>)

13:30-13:40 チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)

.....

13:45 – 15:25 研究発表・実践報告・ワークショップ

（発表概要は pp. 5-6 をご参照ください）

【第1室（DS304）】 司会：柳 善和（名古屋学院大学）	【第2室（DS303）】 司会：中川 右也（三重大学）
13:45 – 14:45 【ワークショップ】 先行研究とは？ 使い方、調べ方、書き方 高橋 美由紀（愛知教育大学）	13:45 – 14:15 【実践報告】 自学自習型オンライン科目において英単語を 学ぶ大学新生生の学習活動の分析 天野 修一（広島大学）
	14:20 – 14:50 【実践報告】 台湾とのオンライン交流授業におけるプレゼ ンテーション発表活動 —美術科高校における 英語学習への動機付けとその成果— 出尾 美由紀（大阪府立港南造形高等学校）
	14:55 – 15:25 【研究発表】 フィリピンにルーツを持つ児童・生徒の英語力 の変化に関する事例研究 柴田 里実（金城学院大学）

.....

15:30 – 16:50 シンポジウム 【第 1 室 (DS304)】

「LET の歩み・中部支部研究大会 100 回を記念して

現在・過去・未来、言語教育・メディアの展望を語る」

司会：西尾 由里（名城大学）

シンポジスト：

木下 正義（LET 名誉会長（第 10 代会長））

柳 善和（LET 名誉会長（第 12 代会長）・名古屋学院大学）

森田 彰（LET 会長（第 13 代会長）・早稲田大学）

＜各シンポジストの発表概要＞

木下 正義「LLA から LET へー過去・現在・未来」

刊本「外国語教育メディア学会 50 年の歩み」（金星堂出版、平成 22 年 8 月初版、1-179pp）が発刊されて 10 年の歳月が流れた。その刊本の中で「LET(旧 LLA)と歩んだ教師人生」を巻頭言に著している。過去を振り返り、外国語教育が変化している現在と ICT 端末活用授業と ChatGPT 活用の是非に関する未来について論じたい。

柳 善和「新型コロナウイルス感染症とデジタル機器利用の拡大」

新型コロナウイルス感染症がおおよそ 3 年間にわたって蔓延し、教育現場にもその影響が及んだ。対面での授業が困難な時期もあり、その代替策として、オンラインの授業方法が注目を集めた。従来から、教育機器の活用が主張されていたが、新型コロナウイルス感染症のために、急速にその普及が進んだことは皮肉でもある。今回の発表では、その間の経緯や今後の見通しなどを扱いたい。

森田 彰「LET ができること、しなければいけないこと」

木下先生、柳先生の ICT の急速な発達と日常生活への普及にともなう教育環境の変化、新型コロナウイルス感染症の教育界へのインパクト等の総括を踏まえ、新たな教師像、学生・生徒像にもフォーカスを当てながら、言語教育と研究のために、私たちの学会がそして会員ができることは何か、また、しなければならぬことは何かを皆さんと共に考えて行きたい。

.....

16:50 - 閉会式 【第 1 室 (DS304)】

司会：天野 修一（広島大学）

主催者挨拶：高橋 美由紀

（中部支部副支部長・愛知教育大学）

事務連絡等：工藤 泰三

（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

.....

17:00 – 懇親会 【MU GARDEN TERRACE（北館 1 階）】

発表概要

第1室 (DS304)

先行研究とは？ 使い方、調べ方、書き方【ワークショップ】

高橋 美由紀 (愛知教育大学)

学術論文の執筆では、執筆者の研究よりも先に発表された研究を基にして、そこに執筆者独自の視点を加えて研究を行うことが重要です。本ワークショップでは、先行研究の意義、使い方、調べ方、書き方について、実際の論文を活用しながら説明したいと思います。

第2室 (DS303)

(1) 自学自習型オンライン科目において英単語を学ぶ大学新入生の学習活動の分析【実践報告】

天野 修一 (広島大学)

本発表は、先行研究で指摘されているオンライン学習の先延ばし行動への対策を探るため、大学新入生の学習ログを分析し、科目改善の方策や学生への助言内容を導き出すことを目的とするものである。報告の対象は、必修科目として自学自習型オンライン科目を履修し、英単語を中心に学ぶ1年生およそ1000名である。学生は大学独自選定の語彙リストに基づき、同じく独自開発のアプリ上で学習し、ウェブ上で履修ガイダンスや受験必須の小テストを受けた。分析は単位修得基準以上の学習量に到達した学生と到達しなかった学生の学習ログの比較を中心に行った。その結果、両群の大きな違いとして、基準に到達した学生達は2度の小テストを学習進捗に活かし、平均して締め切りの5週ほど前までに基準到達していたが、到達しなかった学生達は相対的に少しずつ学習が遅れており、最終週に取り戻そうとして戻し切れずに到達できなかったことがわかった。これらの分析に基づき、科目改善の方策や学生への助言内容を案出する。

(2) 台湾とのオンライン交流授業におけるプレゼンテーション発表活動 —美術科高校における英語学習への動機付けとその成果—【実践報告】

出尾 美由紀 (大阪府立港南造形高等学校)

美術科高校においては、多くの生徒が英語学習を高校での学びの主目的としておらず、その動機付けを維持することが難しいと言える。そこで、ESPアプローチとICT機器を効果的に用いて、自作の作品プレゼンテーションを台湾の生徒に発表するオンライン授業実践を試みた。まずは、作品紹介に必要な英単語や文構造のインプットを行い、生徒の専門領域によって異なる美術用語については、添削のやり取りを重ねて段階的に原稿を執筆した。オンライン授業では、日本人生徒2～3名のグループで台湾の生徒1名に向けて発表を行った。発表後のアンケートでは、参加生徒全員が「発表活動に取り組んでよかった」、「英語を今よりもうまく話したいと思った」と回答し、自由記述においても今後の英語学習への意欲的な姿勢を示す記述が多くみられた。当日は、本実践に至るまでに使用したワークシートやオンライン学習ツールもあわせて紹介したい。

(3) フィリピンにルーツを持つ児童・生徒の英語力の変化に関する事例研究【研究発表】

柴田 里実 (金城学院大学)

本研究では、小学校段階で日本に移住してきたフィリピンにルーツを持つ児童が、どのように日本国内で高い英語力を身につけることが出来るのかを、ナラティブ記述型事例研究の手法を活用し調査を試みた。研究対象者は、CEFR1 以上の高い英語力を備えているフィリピンにルーツを持つ大学生 1 名である。フィリピン在住時の言語環境、日本移住後の小学校での言語環境、中学校での言語環境にカテゴリー化し、ナラティブ記述を依頼した。その後、追加インタビューを実施した。データおよび追加インタビューから、12 歳で来日した時点では、高い英語力を備えていたわけではないが、15 歳までに CEFR B2 から C1 のレベルに到達していたことが明らかとなった。また、家庭での使用言語はタガログ語で学校生活では日本語を使用していたことが分かった。英語で読むことを中心としたインプットに加え、英語で書く多様な活動を通じたアウトプット活動が英語力向上に大きく貢献していることが明らかとなった。

.....

<メモにお使いください>

～ ご案内 ～

賛助会員出展 廊下で出展していただきます。ぜひお立ち寄りください。

- 株式会社エル・インターフェース (<https://www.supereigo.com>)
- ETS Japan 合同会社 (<https://www.etsjapan.jp/>)
- 株式会社教育測定研究所 (<https://www.jiem.co.jp/>)
- チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)

昼食 各自でお取りください。各自ご持参いただくか、近隣の店舗をご利用ください。

懇親会

- キャンパス内にある MU GARDEN TERRACE（北館 1F）で行います。ぜひご参加ください。
- 会費はお 1 人 4,000 円、学生会員および大学学部生は半額です。当日お支払いいただきますので、できるだけお釣りのないようにご用意ください。
- 大会参加お申し込みの際に、懇親会の参加有無についてもご入力ください。

大会参加申込用
QR コード



大会参加のご案内

- ご参加には事前申し込みが必要です。5月24日までに Google フォームよりお申し込みください。URL は <https://forms.gle/gMYzYGdQsXj6FZwF9> です（右上の QR コードもご利用いただけます）。
- 非会員の方は資料代として 1,000 円を当日受付の際にお支払いください。会員および大学学部生は無料です。
- 発表者の方も参加申し込みをお願いいたします。
- お子様連れでご参加の方のために、授乳室・家族休憩室を設けます（DS301 教室、シッターの用意はありません）。ご利用の方は受付にてお申し出ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大予防にご留意ください。発熱・咳などの症状がある方は来場をお控えください。
- 発表者の方は、発表開始 5 分前までにご自身の発表会場にお越しください。また、PC はご自身のものをお持ちください。

新規ご入会案内

- 会員になられますと、LET 全国研究大会（年 1 回）や支部研究大会（年 2 回）での研究発表・実践報告、紀要への投稿などをしていただくことができます。
- LET 本部サイト（下記）にて入会登録をしていただくと仮会員になります。仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます。なお、年会費は次の通りです。

個人会員：年額 6,000 円 / 学生会員：年額 3,000 円 / 団体会員：年額 6,000 円

- 年会費をお支払いいただきますと、正会員になります（3 ヶ月以内にお手続きをお願いします）。

会員登録、会員情報の更新は

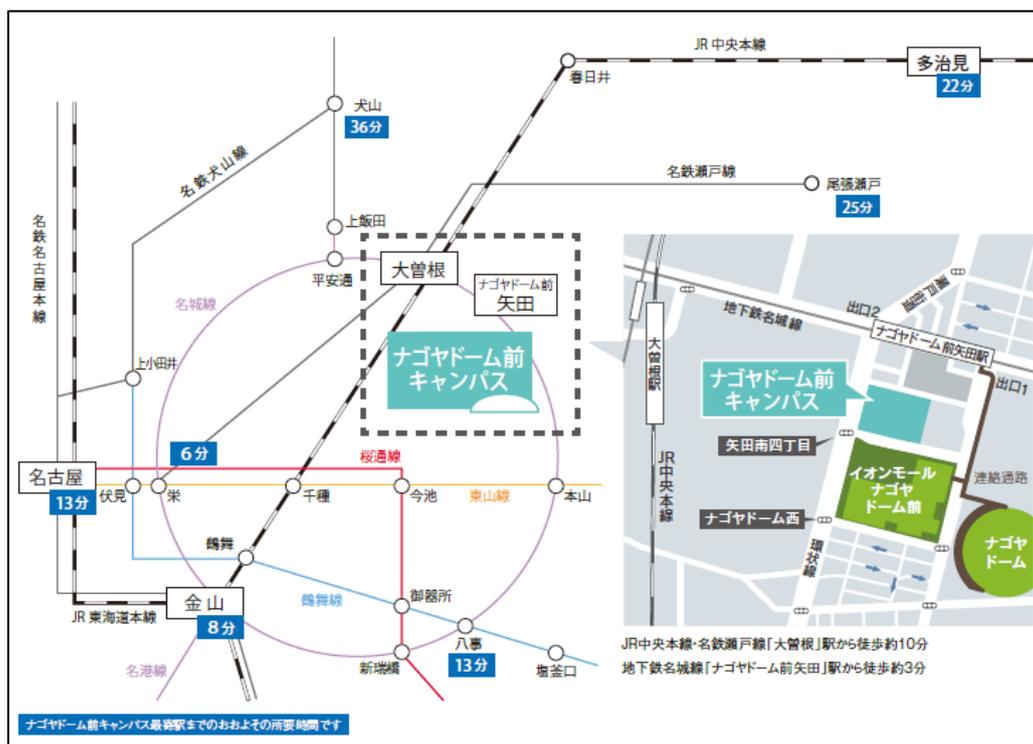
LET 本部サイト（<https://www.j-let.org/>）からお願いします →



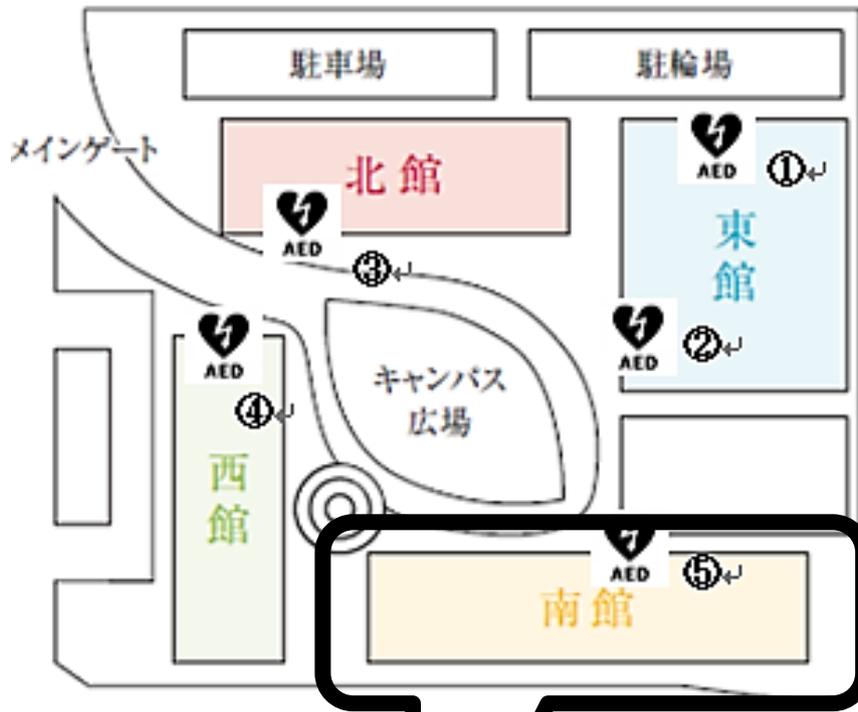
～ 会場へのアクセス ～

公共交通機関をご利用ください

- JR 中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車 徒歩約 10 分
- 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車 2 番出口 徒歩約 3 分
- ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩約 5 分



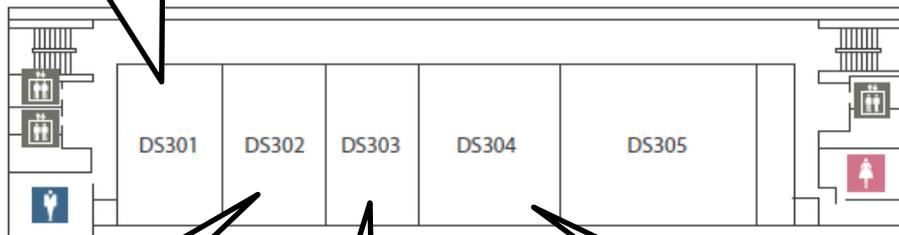
～ 会場内案内図 ～



家族休憩室
(DS301)

会場は
南館3階です

3F



控室・
評議員会室
(DS302)

第2室
(DS303)

第1室
(DS304)

<メモにお使いください>

<メモにお使いください>

